

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	産業カウンセリング論(Industrial Counseling)		授業コード	E039901
担当教員名	高橋 淳一郎、久米 廣昌		科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	産業カウンセラーの受験資格を目指す学生は必ず履修してください。資格を目指す学生は「産業カウンセリング演習」「産業カウンセリング実習Ⅰ」「産業カウンセリング実習Ⅱ」と同時に履修しなければなりません。			
受講心得	遅刻、講義中の携帯電話の使用、おしゃべり、無断外室など、他の学生に迷惑のかかる行為は禁止です。大学生として最低限のマナーは守って履修してください。			
教科書	産業カウンセリング 社団法人日本産業カウンセラー協会 編			
参考文献及び指定図書				
関連科目	心理学、カウンセリング、精神保健学、ビジネス実務総論A、産業カウンセリング演習、産業カウンセリング実習Ⅰ、産業カウンセリング実習Ⅱ			

授業の目的	学生のみなさんは大学を卒業するとほとんどが就職して社会に出て行くことでしょう。実際の社会では人は様々なストレスにさらされ、多くの悩みを抱えて生きています。この講義では産業の現場における対人援助の理論と方法を学び、産業カウンセラーとしてはもちろん、その前に産業界で活躍するための一人の社会人としてのあるべき姿を学ぶことを目的とします。
授業の概要	

○授業計画		
学修内容	学修課題(予習・復習)	
第1回 オリエンテーション		
第2回～第3回 傾聴の意義と技法 カウンセリングの基本的スキルである傾聴について考えます。		
第4回～第5回 産業カウンセリングの発展 カウンセリングの中でもとりわけ産業を舞台としたものがどのように生まれ、今日まで発展してきたのかを学びます。		
第6回 産業カウンセラーの役割と活動 第4・5回を踏まえて、社会の中における産業カウンセラーがどのような役割を担っているのかを学んでいきます。		
第7回 産業カウンセラーの倫理 他者を援助していく上で、忘れてはいけない倫理面のお話をしていきます。		
第8回～第11回 職場のメンタルヘルス 働く中で我々が陥りやすい精神保健上の問題について学び、それらをどのように乗り越えていくのか、また、職場に課せられているメンタルヘルスに関する決まり事などを学んでいきます。		
第12回～第13回 キャリアカウンセリング キャリアカウンセリング(キャリアガイダンス)に関する理論や実際の現場について学んでいきます。		
第14回～第15回 産業・組織の心理学 ワークモチベーションや人間関係など労働に関わる心理と、組織やコミュニティーを理解していきます。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	①産業カウンセリングの歴史や役割について理解できる。
【知識・理解】	②産業カウンセリングに関わる心理学的理論について理解できる。 ③職場におけるメンタルヘルスに関する知識を身に付けられる。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。				
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	